

第 1528 回 2 月 第二通常例会

令和 6 年 2 月 27 日（火）に金沢ニューグランドホテルで、第 1528 回通常例会が開催されました。



今回の例会では細川外茂治会長が所用により欠席で、浦田東一第一副会長が挨拶をなされました。令和 6 年能登半島地震をうけて、訪問してくださいました、大垣ライオンズクラブの安田光利会長、中井信義 L. に感謝を述べられたあと、浦田東一 L. が多田浩人 L. とともに輪島市に訪問した際の話をしてくださいました。

伝統工芸品である輪島塗の復興については、輪島塗が完成にいたるまで分業でなされていて（多くの人が携わっている）、再開の目途が立ちにくのではないかと思います。輪島市にあるお菓子屋さんでは、震災で店舗が焼けてしまい、ぎりぎり残った店舗で炊き出しなどのボランティア活動をしているそうです。お菓子屋さんの再開については、輪島市で再開できるのか悩んでいて、金沢市で商売を始めることも考えているそうです。

続いて 2 月 21 日に行われた第 3 回ガバナー諮問委員会の報告をしていただきました。LCIF の義援金について、その用途を決めることがたいへん厳しいとの報告がありました。334D 地区の義援金の目標額 40 万ドルについては、30 万ドルまで集まっていますが、改めて 100 ドル献金をお願いしたいとのことです。地区のボランティア登録については、これから班分けをして活動を行いたいとのことでした。四献委員会では手話の練習中で、大会で披露するとのことでした。マーケティング委員会が行っている退会者減少と新規会員獲得のヒントを得るためのアンケートでは、年配の方の退会理由について多かったのが「人間関係」で、若年層では「役職の負担が大きい」ことが多かったと、興味深い話を報告して下さいました。



次期役員選挙が会員委員長の内山祥一 L. のもとで行われました。内山祥一 L. が次期役員選挙名簿を読み上げると、会場の満場の拍手で承認されました。続いて、次期会長に就任が決定した浦田東一 L. から、「力不足ではありますが精一杯頑張りたいと思っています。」「（助言で）自分のカラーを出しなさいと言われるが、カラーがないのが自分です。」と就任挨拶をしていただきました。

大垣ライオンズクラブから義援金寄託についての話がありました。



大垣ライオンズクラブの安田光利会長から「令和 6 年能登半島地震で 241 名が亡くなられたことに、ご冥福を申し上げますとともに、12,000 人に及ぶ被災者の皆様に心からのお見舞いを申し上げます。

2007 年から姉妹提携として交流がある大垣市の野球少年団の子ども達から 54,150 円の義援金が集まりました。また、野球少年団から 100,000 円の義援金が託され、合計 154,150 円の義援金をもってきました」と話されました。詳細については、同じく大垣ライオンズクラブの中井信義 L. から「毎年 2 月に行われる大垣市の野球少年団の駅伝大会で、子供たちから義援金を集めたいとの話があり、義援金が集まりました。どうか、大垣市の野球少年団の子ども達の心を、被災地である輪島市の野球少年団の子ども達に、または、被災地の子ども達に届けて欲しい」と義援金が寄託されました。

各種報告 PR 事項では、第二副会長の中山恭一 L. から環境保全 SDGS ワークショップの報告が、幹事の中井浩人 L. から第 70 回地区年次大会参加依頼についての報告がありました。



本日のゲストスピーチは、社会福祉法人 金沢社会福祉協議会 ボランティアセンター 所長 小鍛冶 康生 様 から「災害ボランティアセンターについて」と題してご講演

して頂きました。「災害ボランティアセンター」は、災害により近隣住民の助け合いが機能しないところをボランティアの力を借りて、被災者の自立・生活の再建を図ることが目的で、被災者のニーズと個人(団体)のボランティア活動をつなぎ、被災者支援を目的とする団体等と連携を図りながら、様々な調整を行うことが役割です。災害が発生し、行政の災害対策本部が設置されると同時に「災害ボランティアセンター」も設置されるなど、いろいろとスピーチして頂きました。（詳細につきましては配布資料を参照してください。）

最後にテールツイスターの永野琢也 L. が登場し、ドネーションの発表をしていただいて第 1528 回通常例会は終了しました。

（記事：L. 中村吉興計画委員長）